



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年6月28日

株式会社 おきぎん経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2024年5月分）

### ◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

☆ 企業倒産：件数は前年同月と同水準、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報 (2024年5月分)

◎2024年5月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

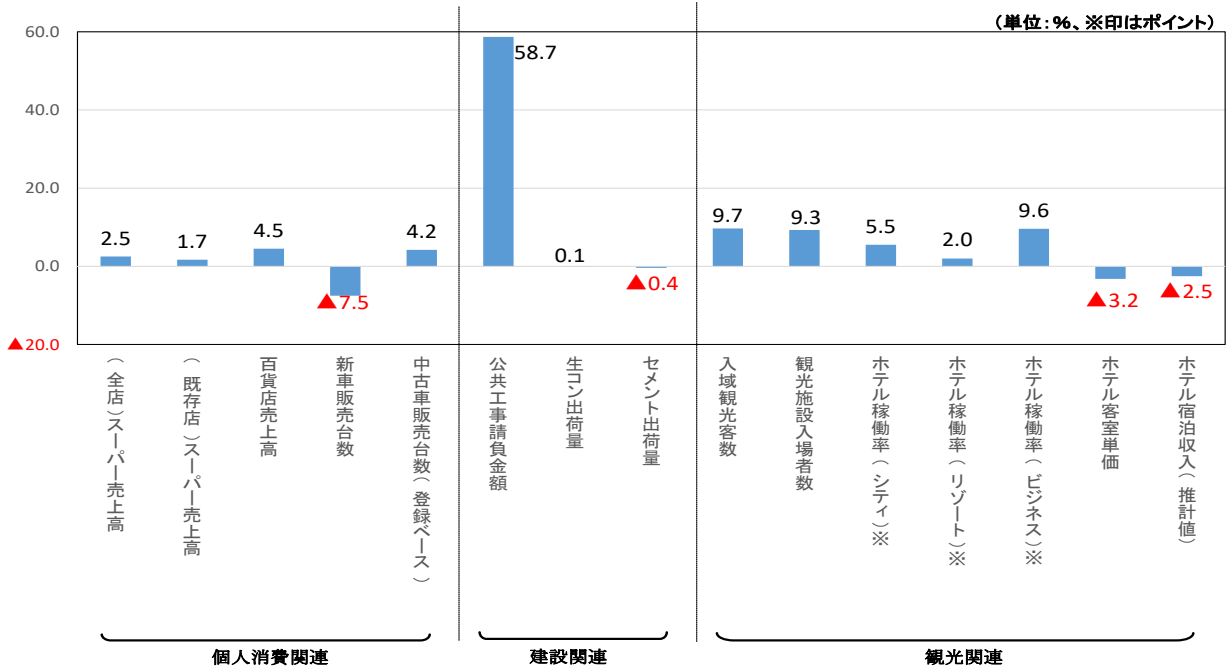
建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も前年同月を下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、公共関連は概ね堅調に推移し、民間関連はこのところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から8か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)



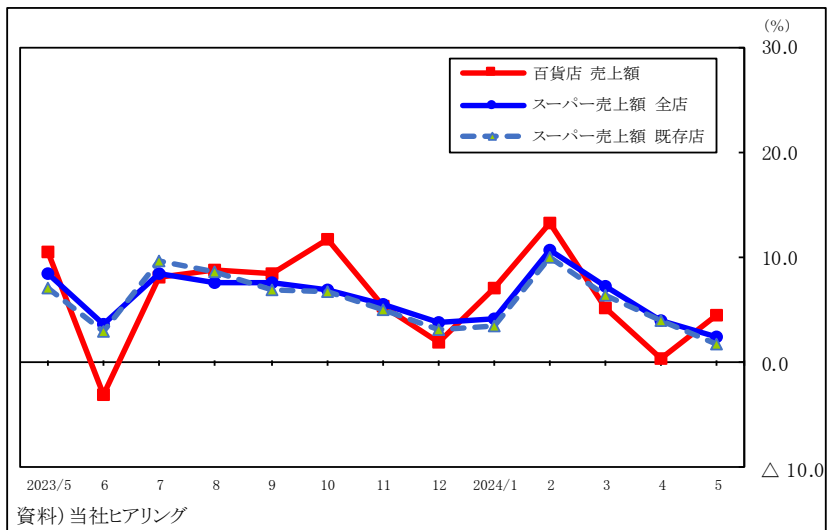


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/5	8.4	7.1	10.6
6	3.6	3.0	△ 3.0
7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3
3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4
5	2.5	1.7	4.5



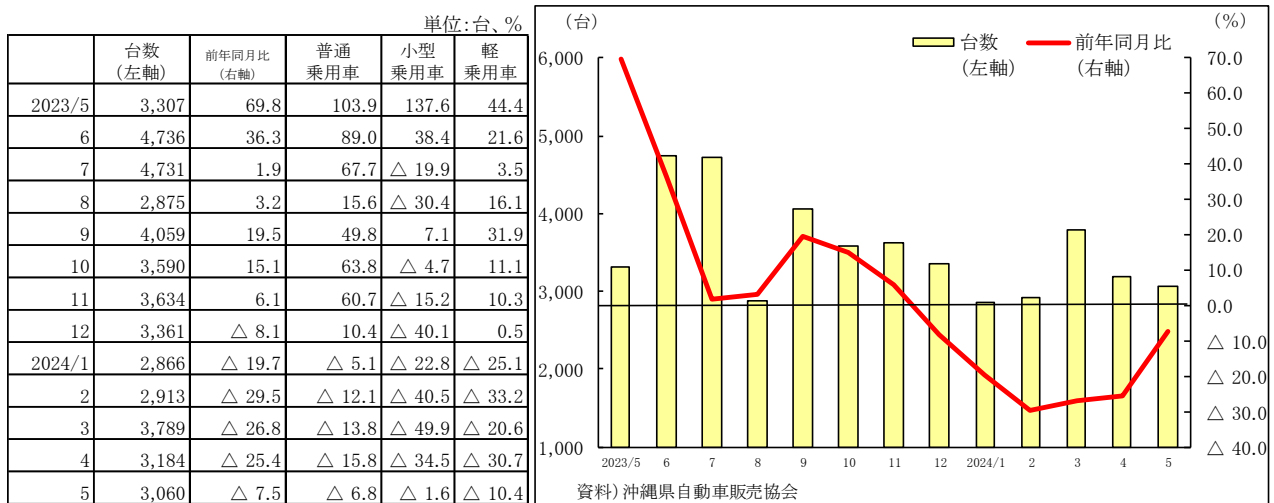
注) 前年同月比

5月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 2.5%増)」は、24ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 1.6%増)」は、前年の天候要因で売り上げが増加した反動があったものの、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 8.6%増)」は、店舗数の増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 3.2%増)」は、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 1.7%増)」は、24ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 0.9%増)」、「家庭用品(同 6.2%増)」、「衣料品(同 3.5%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、11ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 4.5%増)。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 1.7%増)」は、催事企画の好調等により前年同月を上回りました。「食堂喫茶(同 11.5%増)」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 5.9%増)」は、免税売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 2.4%増)」は、キャッシュバック企画の好調等により前年同月を上回りました。「身廻品(同 14.0%減)」は、前年に実施された企画の反動などにより前年同月を下回りました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

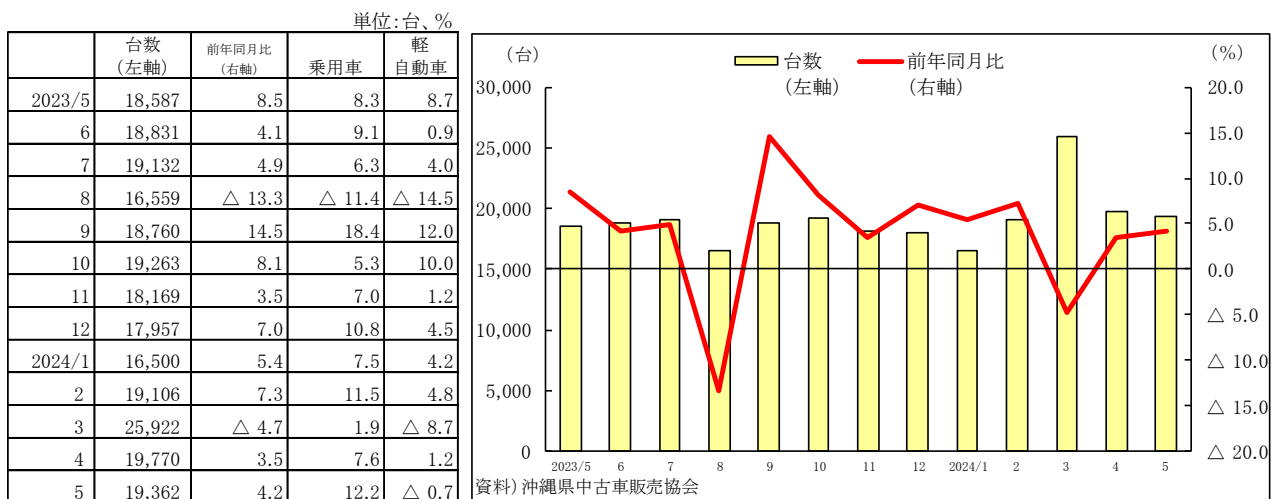


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,060台(同7.5%減)となり、6ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同6.8%減)」、「小型乗用車(同1.6%減)」はレンタカーの登録台数は増加したものの一部メーカーの出荷停止の影響などにより、前年同月を下回りました。「軽乗用車(同10.4%減)」は、一部メーカーの出荷停止やレンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 登録ベース

**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で19,362台(同4.2%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同12.2%増)」は、前年同月を上回りました。「軽自動車(同0.7%減)」は、前年同月を下回りました。

④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



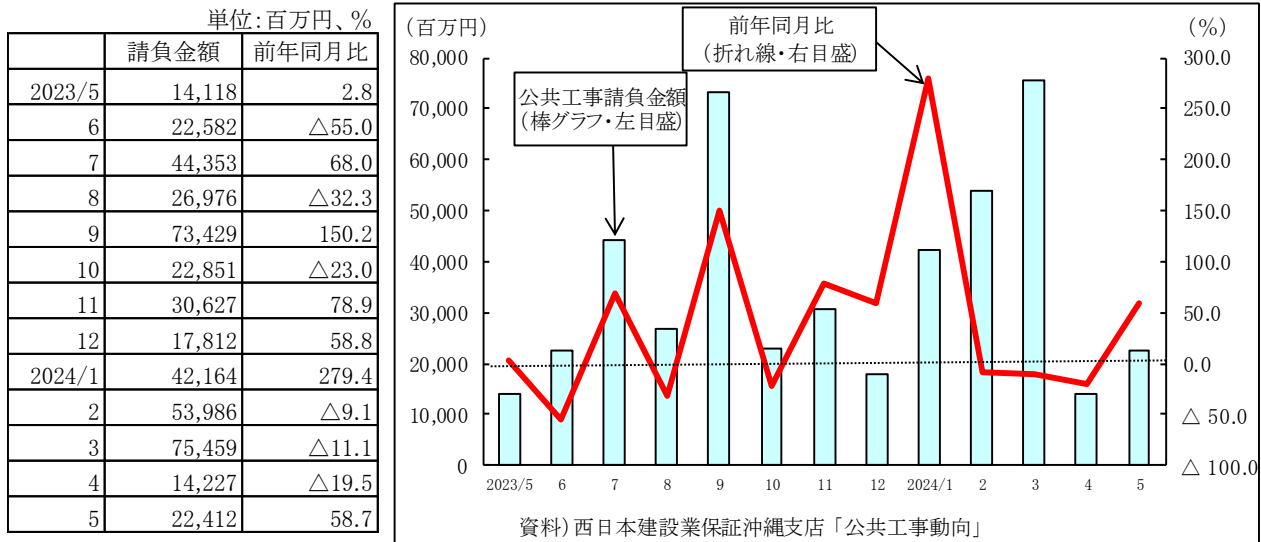
注) 前年同月比

5月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

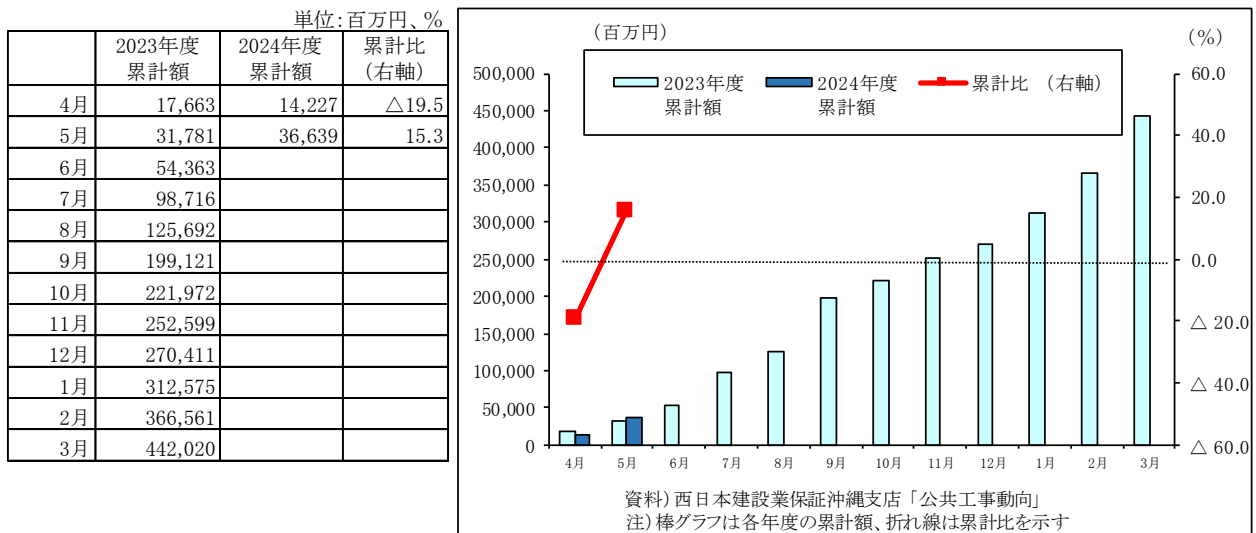


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



【参考】公共工事 (年度累計)・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



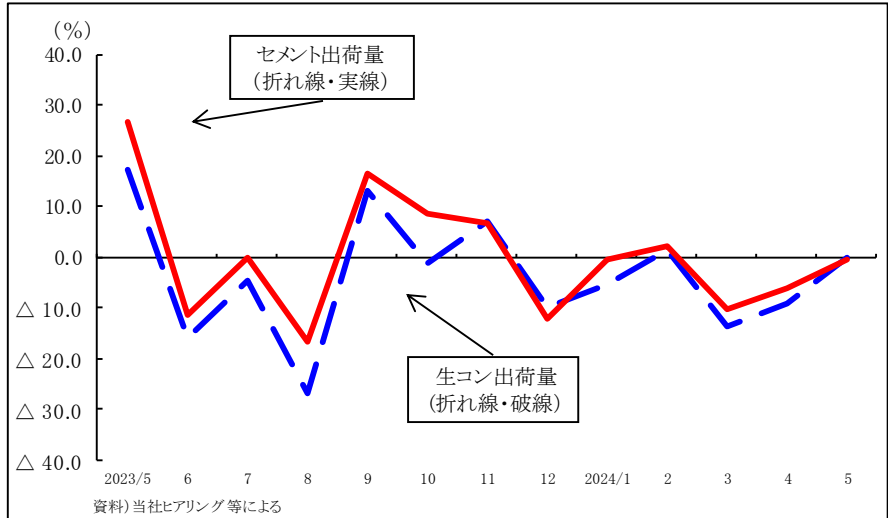
5月の公共工事請負金額は、前年同月比 58.7%増の 224 億 1,200 万円となりました(4ヵ月ぶりに増)。

発注者別でみると、「市町村(同 128.0%増)」、「その他の公共的団体(627.6%増)」、「沖縄県(同 1.6%増)」は前年同月を上回りました。一方、「国(同 20.8%減)」は前年同月を下回りました。

## ② 建設資材・・・生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/5	17.3	26.9
6	△ 15.7	△ 11.3
7	△ 4.7	0.0
8	△ 26.9	△ 16.6
9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4
3	△ 13.5	△ 10.1
4	△ 9.2	△ 6.2
5	0.1	△ 0.4



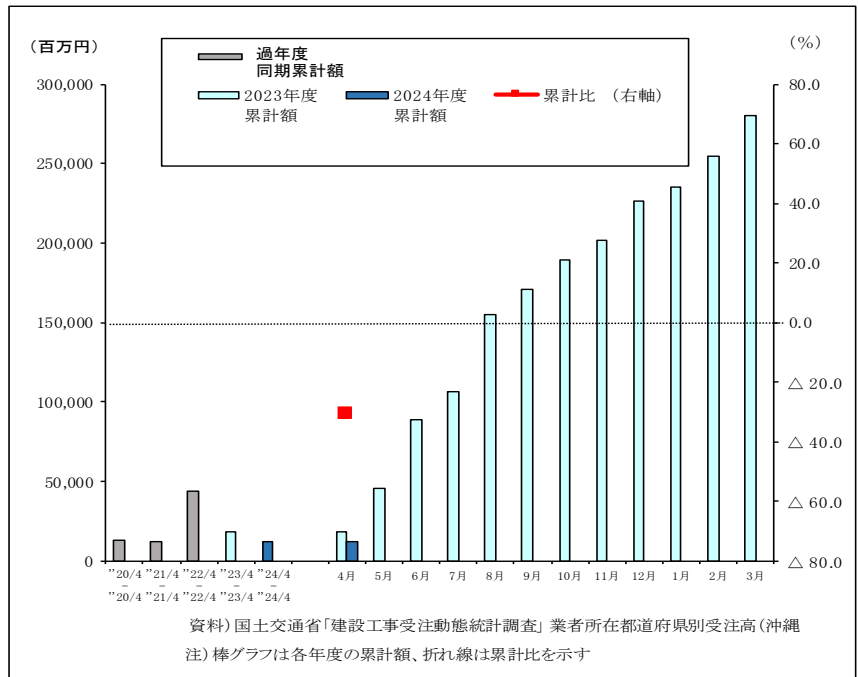
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は 0.1%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは、北部地区、石垣地区、宮古地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 1.4%上回りました。一方、民間工事向けは、石垣地区、中南部地区、北部地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 0.5%下回りました。**セメント**の出荷量は、0.4%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

## ③ 【参考】民間等元請受注 (年度累計) …前年同期を下回る。

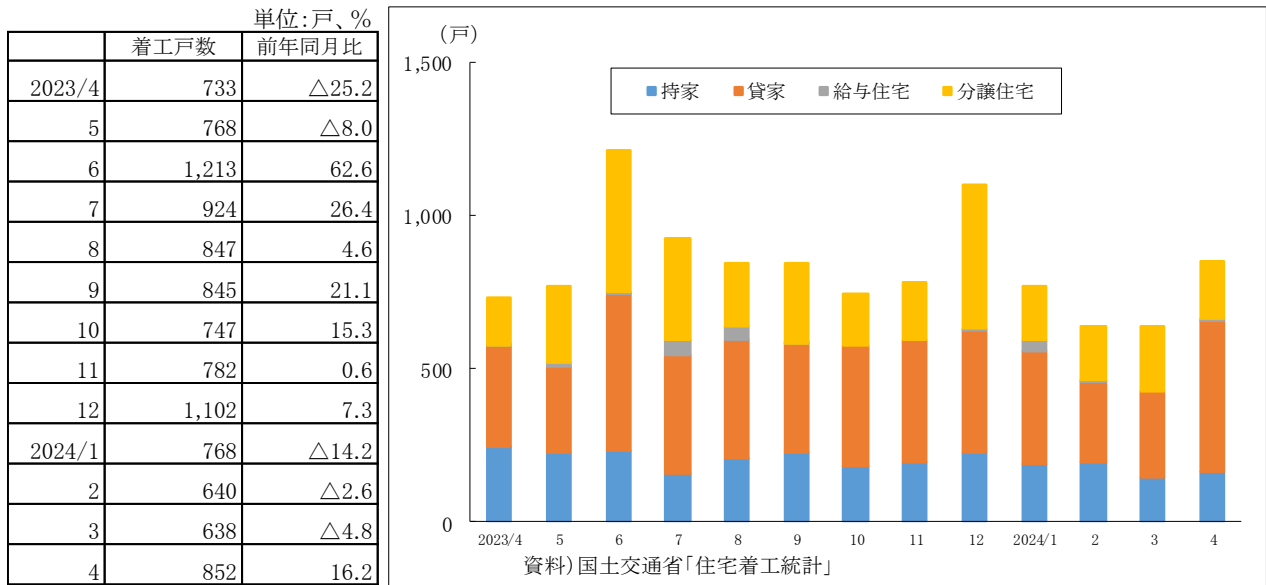
単位:百万円、%

	累計額		
''20/4	12,652		
-''20/4			
''21/4	12,281		
-''21/4			
''22/4	43,646		
-''22/4			
''23/4	18,069		
-''23/4			
''24/4	12,551		
-''24/4			
	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	18,069	12,551	△30.5
5月	45,654		
6月	88,815		
7月	106,797		
8月	155,056		
9月	170,863		
10月	189,095		
11月	202,154		
12月	226,690		
1月	235,764		
2月	254,964		
3月	279,940		



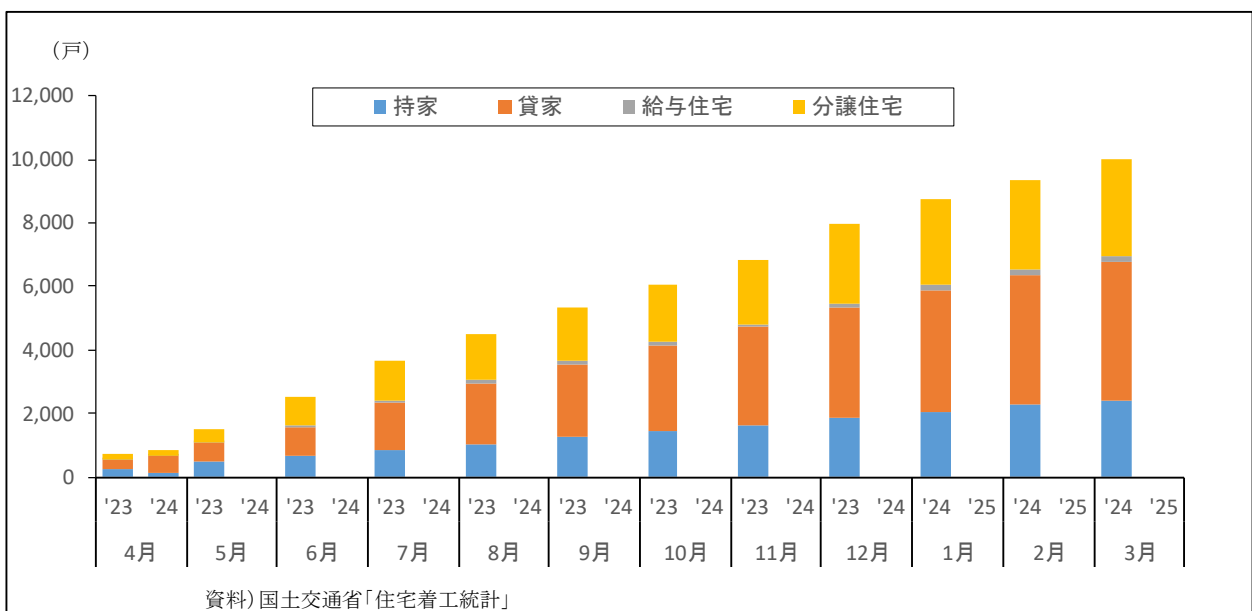
2024 年度累計値では、30.5%減となっています。

④ 【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。



4月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比16.2%増の852戸となり、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同49.7%増)」、「分譲住宅(同22.3%増)」は前年同月を上回りました。一方、「持家(同33.1%減)」、「給与住宅(同50.0%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



2024年度累計値では、16.2%増となっています。





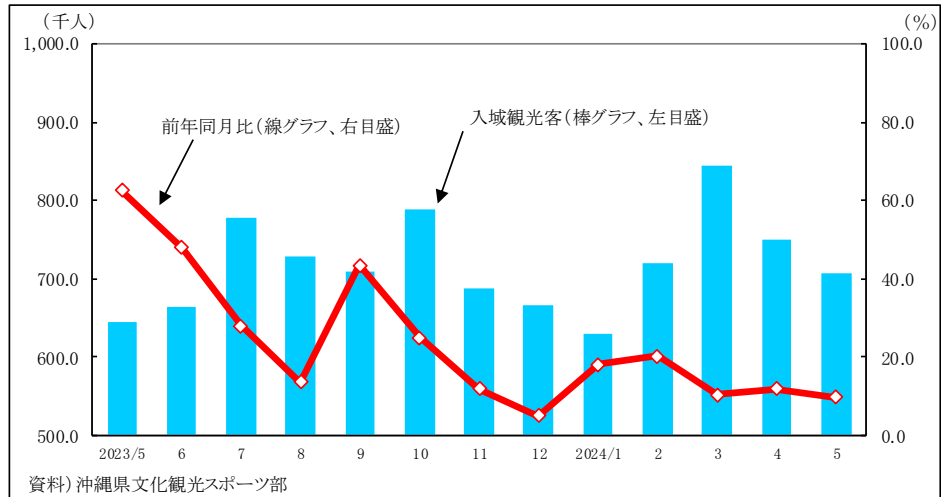
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2023/5	645.2	62.6
6	663.4	47.9
7	778.8	28.1
8	728.6	13.7
9	710.1	43.5
10	788.3	25.0
11	688.2	11.9
12	666.7	5.0
2024/1	629.2	18.2
2	719.2	20.3
3	845.1	10.3
4	749.3	11.9
5	707.5	9.7

※外国客は乗務員等を含む



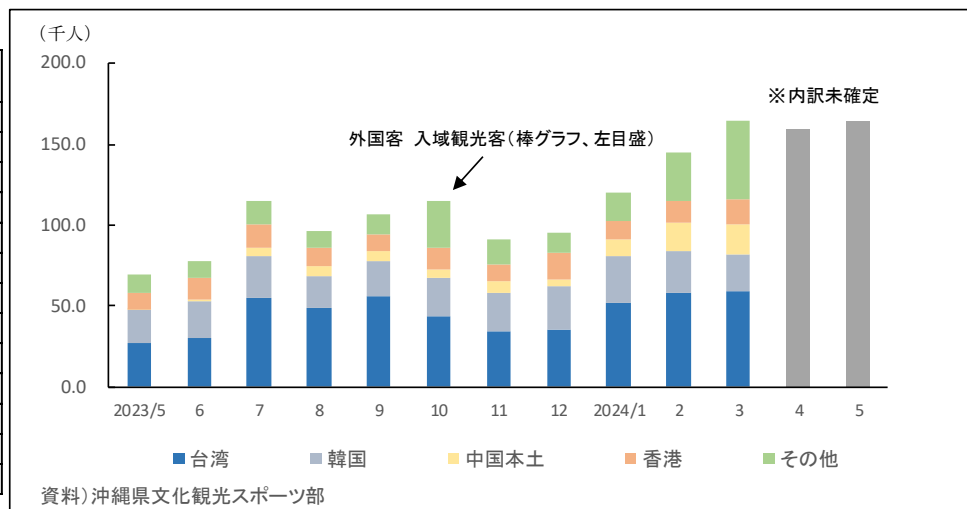
外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。

単位:千人、倍

	入域観光客	前年同月比
2023/5	69.9	N/A
6	77.7	N/A
7	115.2	N/A
8	96.4	964倍
9	106.6	N/A
10	115.4	42.7倍
11	91.1	7.5倍
12	95.2	2.9倍
2024/1	120.4	2.7倍
2	144.8	3.3倍
3	164.1	2.6倍
4	158.9	2.4倍
5	148.5	2.1倍

※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。



5月の入域観光客数は、外国人観光客の増加などにより62,300人多い707,500人(前年同月比9.7%増)となり、30ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、国内客は全国旅行支援の反動などにより16,300人少ない559,000人(前年同月比2.8%減)となりました。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、127,400人減少(15.3%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、7,500人減少(1.3%減)となっています。

外国客入域観光客数は、148,500人となりました(空路111,100人、海路37,400人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

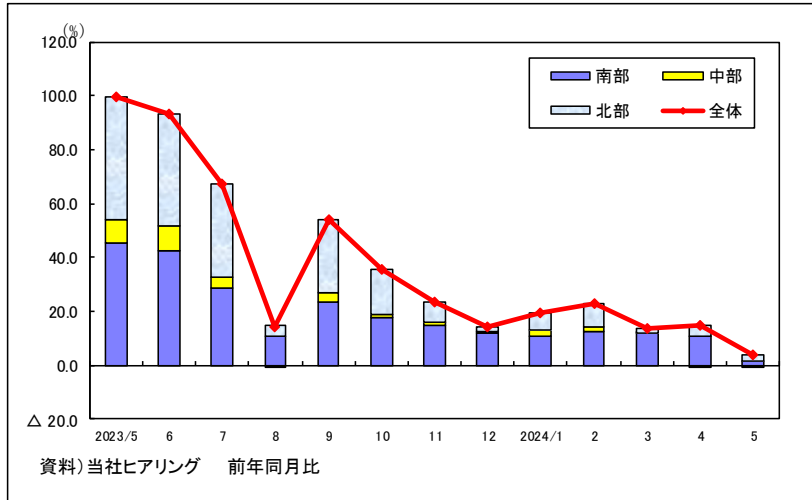
## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/5	99.8	128.0	117.6	80.0
6	93.0	121.7	162.4	69.5
7	67.3	105.0	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	23.0	35.7	17.8	15.8
3	13.4	35.5	0.1	2.8
4	14.7	30.0	△ 0.4	7.1
5	3.9	3.7	△ 2.3	5.0

※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



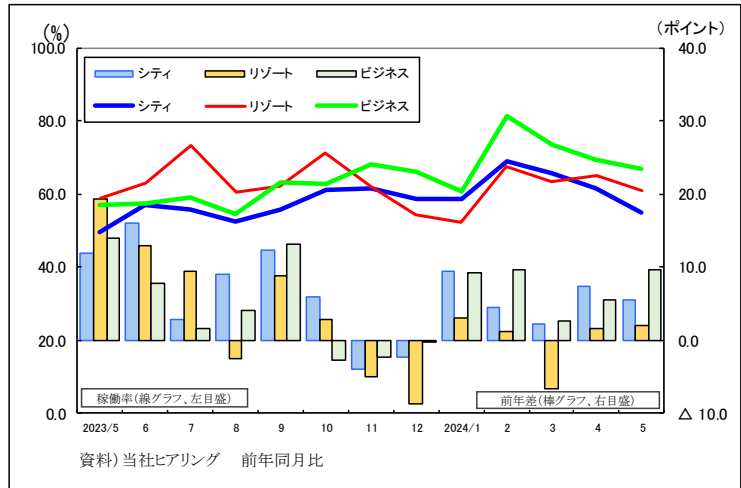
5月の**観光施設入場者数**は、外国人観光客の増加などにより全体では3.9%増となり26ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は5.0%増、南部の観光施設は3.7%増、中部は2.3%減となりました。

(参考)2019年同月比では、全体で36.6%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は30.9%の減少、南部は39.8%の減少、中部は50.7%の減少となっています。

### ③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/5	49.4	58.8	57.2	12.0	19.3	13.9
6	57.0	62.9	57.6	16.0	13.0	7.7
7	55.9	73.4	59.1	2.9	9.5	1.6
8	52.5	60.5	54.4	9.1	△ 2.5	4.1
9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	69.0	67.6	81.3	4.5	1.1	9.7
3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	65.2	69.6	7.4	1.5	5.5
5	54.9	60.8	66.8	5.5	2.0	9.6



注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

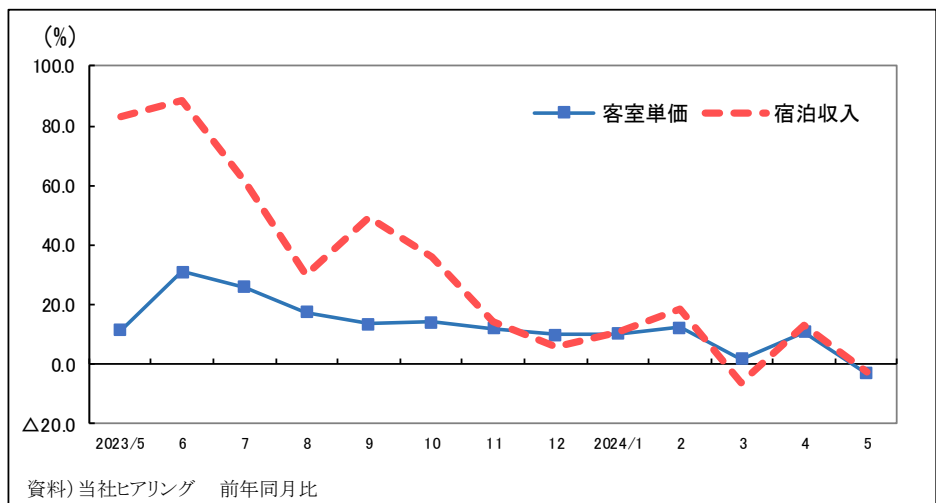
県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 5.5 ポイント増加、リゾートホテルは 2.0 ポイント増加、ビジネスホテルは 9.6 ポイント増加しました。

(参考) 2019 年同月比では、シティホテルは 19.5 ポイントの減少、リゾートホテルは 15.4 ポイントの減少、ビジネスホテルは 2.0 ポイントの減少となっています。

### ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/5	11.4	82.9
6	30.9	88.4
7	25.7	61.4
8	17.3	29.6
9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	12.4	18.4
3	1.7	△6.4
4	10.7	13.3
5	△3.2	△2.5



※対象施設数: 22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く  
※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 3.2%減と 16 ヶ月振りに前年同月を下回り、宿泊収入は 2.5%減と 2 ヶ月振りに前年同月を下回りました。

(参考) 2019 年同月比では、客室単価は 14.5%の増加、客室収入は 22.9%の減少となっています。

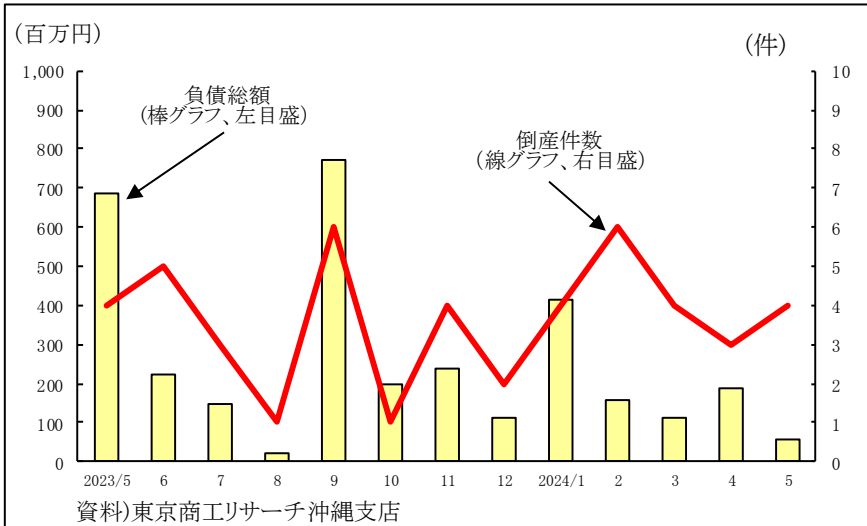


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月と同水準、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2023/5	689	4
6	225	5
7	147	3
8	20	1
9	771	6
10	200	1
11	239	4
12	110	2
2024/1	416	4
2	157	6
3	113	4
4	188	3
5	55	4



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

5月の企業倒産件数は4件(うち1億円以上10億円未満の大口倒産は発生なし)となり、前年同月と同水準となりました。

負債総額は5,500万円となり、前年同月より92.0%下回りました。

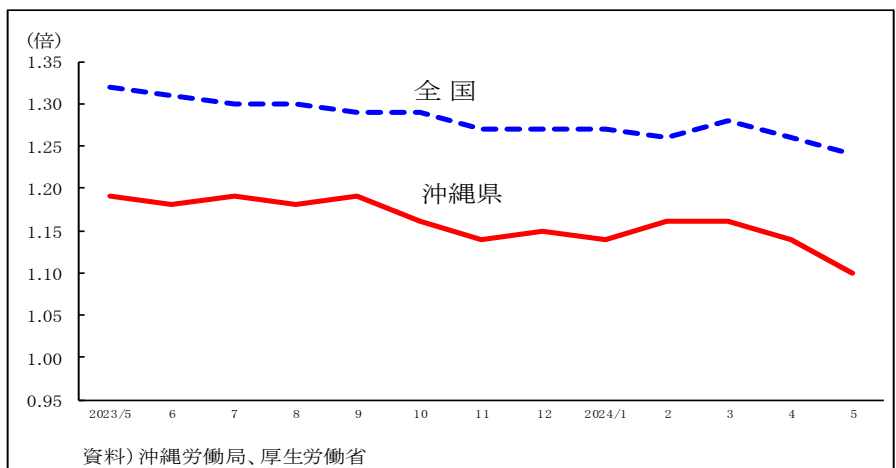


■雇用関連： (やや良い)

① 有効求人倍率・・・沖縄と全国はともに前月より低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2023/5	1.19	1.32
6	1.18	1.31
7	1.19	1.30
8	1.18	1.30
9	1.19	1.29
10	1.16	1.29
11	1.14	1.27
12	1.15	1.27
2024/1	1.14	1.27
2	1.16	1.26
3	1.16	1.28
4	1.14	1.26
5	1.10	1.24



注) 季節調整済

注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

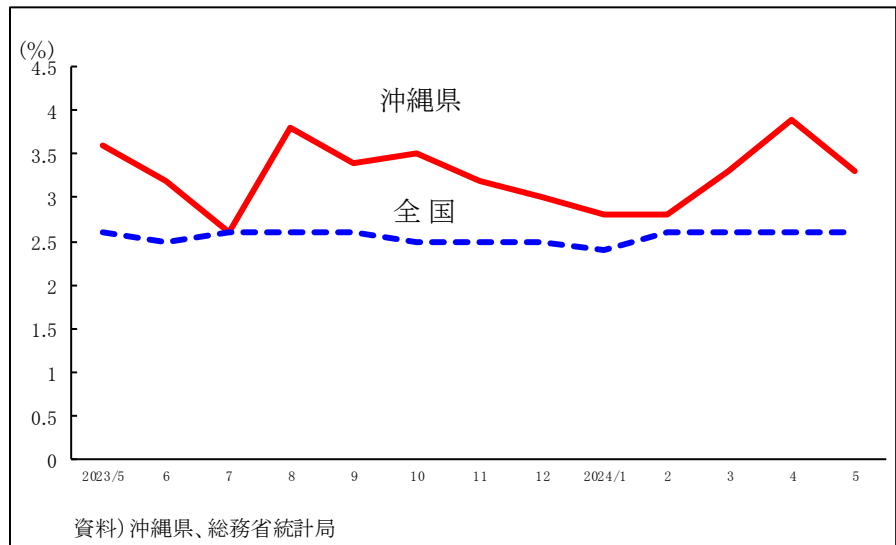
5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.4%減の32,020人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.0%増の29,155人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍と、前月より0.04ポイント低下しました。

② 完全失業率・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/5	3.6	2.6
6	3.2	2.5
7	2.6	2.6
8	3.8	2.6
9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4
2	2.8	2.6
3	3.3	2.6
4	3.9	2.6
5	3.3	2.6

注) 季節調整済



5月の完全失業率(季節調整値) は、3.3%となり前月より0.6ポイント低下しました。